

新たな取り組みがひろがっています！

コールガンダー “ごくるま座” に出演



▲2月26日諏訪湖畔病院「ごくるま座」で仏教讃歌を発表（4頁に関連記事）



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

いよいよ四月九日より、親鸞聖人七百五十回忌が本山・西本願寺で始まります▼敬念寺もそのお待ち受けのための諸事業と二十一年十一月記念法要を、おつとめ“させていただきました▼昭和五十五年の伝灯奉告法要、平成十年の蓮如上人五百回忌法要に続いての団体参拝を代表者の皆さんと四月十六日に行つてまいります▼一月より日曜礼拝では当日三千五百人位のお同行と共に唱和する「宗祖讃仰作法・音楽法要」をおつとめ(練習)しておりますが、その最後(回向文)に「恩徳讃」を歌います▼恩徳讃は一二五七年(康元二年)、親鸞聖人が八十五歳の時に恩徳の広大なることを歌いあげた「正像末和讃」の一首です▼聖人のいただかれた恩徳はどういう内容だったのでしょうか▼無病息災、商売繁盛、家内安全、子孫繁栄など自分の都合が叶ったことの恩徳でしょうか▼聖人がこの和讃をお作りになった頃は、関東の門弟の混乱、実子善鸞との親子の義絶、ご自身の老いによる身体の衰えなど、苦悩の真つ只中でありながら弥陀の本願を信じ、ただ念仏して歩む確かな道を賜ることができたという、感動の歌だと味わうことができます▼このたび、ご真影さまを安置した御影堂に座し、身をもってお伝え下さった親鸞聖人さまのお心を深く受け止め、「恩徳讃」を声高らかに歌い、合掌してまいりたいと思います。

如来大悲の恩徳は
身を粉にしても報ずべし
師主知識の恩徳も
ほねをくだきても謝すべし

釋 玄真

ご寺院行事

- 3月21日(月) 春の彼岸法要 前 10:00
- 4月16日(土) 親鸞聖人750回大遠忌
- ~ 18日(月) 敬念寺団体参拝
- 7月 9日(土) ファミリー参拝 後 6:00
- 8月 1日(月) 第32回早朝連続参拝 前 5:30
- ~ 10日(水)

ご定例法話会

- 3月20日(日) 講師 高木格英先生(三重県)
- 4月20日(水) 講師 寺西良夫先生(富山県)
- 5月20日(金) 講師 増井浄見先生(兵庫県)
- 6月20日(月) 講師 八幡徹信先生(岐阜県)
- 7月20日(水) 講師 青木哲静先生(富山県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです

特集

— 親鸞聖人750回大遠忌法要の記念の年 —
親鸞さまに親しもう！ 浄土真宗の教えに親しもう！

お盆やお彼岸にお墓やお寺におまいりする。法事やお葬式の時だけのお寺でなく、この機会(年)に、「私の歩むべき道」を、浄土真宗・お念仏の教えと改めて定め、「新たな歩み」を始めましょう！すでに組の連続研修、本山の中央教修などに駒を進めておられる方もありますが、現在中央仏教学院の通信教育を履修中の方、ビハーラ活動者養成研修会を修了した方のお二人に寄稿していただきました。

浄土真宗の教えの親しみ方

- 方法① 門徒必携や買い求めた本、新聞、テレビ、インターネットなどで自宅研修
- 方法② 日曜礼拝、年中行事の法要に参拝・聴聞する。
- 方法③ 毎月二十日の常例法座におまいりし聴聞する。
- 方法④ 連続研修や中央教修に参加する。(寺へ申し込んで)
- 方法⑤ 通信教育など諸研修に挑戦する。
- 方法⑥ お寺の諸活動に奉仕する。

私の通信教育

辰野町 栗岡 正治

学びのきっかけは、母の葬儀を御住職様にして頂きお寺にて法話を聴聞した時です。

私は還暦近い歳まで、仏教など無縁だと思っていた自分の無知さに気付かされ、中央仏教学院の通信教育に入学いたしました。

いざ始めたのは良いが、難しく理解に苦しむ連続で何度も投げ出したくなりました。幸い私には、CDや教科書では味わえない学習方法がありました。それは、敬念寺の阿弥陀さまに合掌・お念仏し、その都度勇気付けられ入門課程をおかげさまで卒業することができました。これからは、本願念仏し親鸞聖人のみ教えの道を牛歩ですが、更に学びを深めていきたいと思えます。

通信教育生募集！

人生の地図をポケットに…。気軽な感覚で好きな時間に心の勉強。今始まる一歩です。

ビハーラ活動への思い

小口区 西山周治

私は父と母をお浄土に送り、お寺での聴聞を通して阿弥陀如来・親鸞聖人さまのお慈悲に出会い、ご住職の助言で組連研、中央教修で更に深く阿弥陀さまのお働きに触れさせていただきました。今は門徒推進員として、また、門信徒会の役員としてお寺の行事等にかわり、ご住職のお手伝いをさせていたただいております。

一方、三十年間オルゴールの生産に携わり、「オルゴールは夢」と世界中の人々に夢を届ける仕事をしてきたとの自負があります。中国での生産立ち上げに関わり、日本と中国の人々の考え方の違いを直接肌で感じ、「私は何をやっているのか」という中国への嫌悪感を覚えてしまいました。

製造業から離れよう！短絡的ですが会社を辞め、人と人との繋がりに仕事を求めました。その間に、ホームヘルパー二級、福祉住環境三級といった福祉系の勉強や、地区活動にも積極的に参加してきました。娘は看護師をしています。

我が娘ながら、その勤務内容に頭が下がります。

ある時、ターミナルケアの研修会の資料が、娘のバッグからのぞいていましたので、何気なく手に取り、パラパラと頁をめくりました。あれほどの過酷な勤務の上に、まだ患者さん達の精神的ケアまで受け持たざるを得ないとは…。

可哀想だなと思うと同時に頑張っているな、とも思いました。私も六十有余歳になりました。もう一歩踏み出したい。この思いを大切にしていきたい。

ビハーラ活動を通して、人と人とのおつき合いが更に深まることを望み、阿弥陀仏のお慈悲を感じ取れたらと思ひ、ビハーラ活動者養成研修会の受講申し込みをいたしました。

ビハーラとは

語源はサンスクリット語で、寺院あるいは安住・休養の場所を意味し、現代では末期患者に対する癒しの支援活動を言う。

詳しくはお寺へ！

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要 — 敬念寺団体参拝にむけて準備進む！

本山西本願寺で営まれる、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要の準備が進んでいます。法要は、四月九日から一月十六日までの六十五日間、一日二座・延べ百十五座営まれ、一座には三千五百人の参拝が予定されています。大勢の門信徒を迎えるため、御影堂前に仮設参拝席、境内に仮設休憩所を設置する工事も進められています。また、法要期間中門前町に「ご縁まち」ができ、伝道館、龍谷ミュージアムもオープンし、門信徒の皆様をお迎えすることになっていきます。

伝道館は「やすらぎ」のテーマ

館になり、四月五日にオープンするミュージアムでは「釋尊と親鸞展」が、また、京都市美術館では真宗教団連合主催の「親鸞展」が開催され、貴重な法宝が展示されますので、必見かと思えます。

◆◆◆◆◆

敬念寺では、四月十六日午後二時から営まれる、第九十六座に代表四十三名が参拝いたします。団体参拝にむけての準備として一月からの日曜礼拝では、「宗祖讃仰作法 音楽法要」の式次第にそってお勤め(練習)を重ねていくとところです。

若院の法話を聴聞・茶話会で懇談

— 毎月最終の日曜礼拝 —

毎月最終の日曜礼拝では若院の法話を聴聞させていただいています。昨年は礼拝終了後、教化委員会企画により若院を囲んで真宗のみ教えを学ぶ会が開かれました。

門徒必携を少しづつ読み下しながら、若院と語らう有意義な時間を過ごすことができました。

昨年末で一区切りとなったことから、今年は、若院を囲んでの茶話会としており、当日の法話の内容などについて、詳しくお聴きして

いますが、回を重ねる毎に、若院の人柄が身近に感じられます。この輪が広がり、次の世代を担う若院を盛りたてる力になっていくことを願うものです。

(白田 記)



▲平成23年1月茶話会

平成二十三年 年回忌(法事)表

一	周忌	平成二十二年
三	回忌	平成二十一年
七	回忌	平成十七年
十三	回忌	平成十一年
十七	回忌	平成七年
二十三	回忌	平成元年
二十五	回忌	昭和六十二年
二十七	回忌	昭和六十年
三十三	回忌	昭和五十四年
三十七	回忌	昭和五十年
五十	回忌	昭和三十七年

法事の日時は早めにお寺に相談し予定しましょう。

役員の変動(三月十六日付)

退任 社会奉仕副委員長

西山 周治

新任 社会奉仕副委員長

吉田 龍司

トピックス!

諏訪湖畔病院「ぞくくるま座」に

歌声を届けました

敬念寺のあらたな取り組みとして、平成二十年七月に仏教讃歌を歌う会「ゴールガンダー」が発足しています。その活動も、早や三年目、大遠忌記念法要や報恩講で歌声を披露しており門信徒の皆様にもお馴染みのことかと思えます。

次なる目標を模索しながら練習を重ねていたところ、諏訪湖畔病院内の「ぞくくるま座」出演のお誘いがあり、さる二月二十六日に会員二十名余で歌声を披露してきました。合間

には歌謡曲に合わせた健康体操を織り交ぜながら発表し、入院中の皆さんにひと時の感動を味わっていただくことができました。

また、今回の病院訪問の機会に、婦人部の皆さんは、使いやすいように小さく切りそろえた「清拭布」千五百枚を七つの紙袋一杯に詰めて持参し、看護部長さんにお渡ししました。

病院では、早速に看護・介護の現場で使われており、大変に重宝されているとお聞きしています。



▲健康体操も好評でした



▲発表を終えて一休みする皆さん

春の彼岸・行事案内

今年の春の彼岸の行事は下記のとおりです。ご家庭で、お寺でよい彼岸の一週間をお過ごし下さい。

- ・3月18日(金) 彼岸の入り
- ・3月20日(日) 日曜礼拝 朝 7:00
- ・3月20日(日) 定例法話会 夜 7:00
- ・3月21日(月) 春の彼岸法要 朝 10:00

講師 高木格英先生(三重県) 20・21日共
講題 「彼岸への道」

※20・21日の両日、終了後お茶の接待があります。

編集後記

長かった冬も終りを告げ、春彼岸の良い季節を迎えました。今号は、間近となった本山・大遠忌法要に関連する記事を掲載いたしました。各お寺では、代表者による法要参加となりますが、来年一月まで長期の法要期間中には、大勢の皆様が京へ足を運ばれ、本山を参拝し、ご縁まの賑わいなどを体験しながら、大遠忌のご縁に遇わせたいただいた喜びを味わうことでしょう。

四月の年次総会は、門信徒の皆様のお声を持ち寄っていたとき、次につなげていく良い機会です。お世話人の皆様のご出席をお待ちしています。

(白田 記)

門信徒会年次総会

—4月29日(金)午後5時半より開催—

総会は地区等世話人の代議員制です。地区世話人を通じてご意見をお寄せ下さい。

日時:平成23年4月29日(金)祝日
午後5時30分開催

場所:敬念寺本堂・講堂

議 題

1. 平成22年度事業・会計報告
2. 平成23年度事業・予算案承認の件
3. その他

久しぶりに懇親会を開催します。
(会費1,000円)
お車はご遠慮ください。